

BUSINESS REPORT

第 34 期 事 業 報 告 書

平成14年2月21日～平成15年2月20日

証券銘柄コード 8217



ごあいさつ



代表取締役社長 大桑 啓嗣

近畿で最も競争力の強い スーパーリージョナルチェーンを 目指しています。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

現在、当社をとりまく環境は、デフレによる客単価下落に歯止めがかからず売上減少を招き、店舗間競争の激化とあわせて厳しい経営環境が続いております。

こうした経営環境の中、営業面で最も重要なことは、お客様から見た商品の魅力とサービスの違いを明確に打ち出し、競合店といかに格差をつけるかということだと思えます。すなわち、お客様にとって、競合店には品揃えされていない商品を、驚くぐらいのお値打ち価格で販売できる商品開発と、当社にしかないサービスがいつでも受けられる店舗づくりにあると考えました。

こうして、当社は「お客様が感動される価値ある商品開発と新しい顧客サービスの提供により、競合店と格差をつけよう。」をスローガンに掲げ、以下の重点課題を掲げました。すなわち、価値ある商品の開発、商品仕入れコストの徹底的削減、従来のオーカードを高機能化した「オーカードプラス」の拡大、在庫型センター稼働によるローコスト運営の実施、新準社員制度導入による人材活性化とレベルアップ、GOT(グラフィック・オーダー・ターミナル)導入による発注システム改革と作業効率改善、24時間営業店舗の拡大などに努め、業務・構造改革推進による効率経営の実現に邁進いたす所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

INDEX

社長ごあいさつ	1.2
オークワの挑戦	3
営業概況	4
連結財務諸表	5.6
単体財務諸表	7.8
企業データ	9.10





感動を与える地域密着型企业として ～ 堅実な将来ビジョンと経営戦略～

感動を与える経営 ① 《ドミナント化》

当社は地域密着型スーパーリージョナルチェーンとして、大阪、和歌山、奈良、三重の南近畿1府3県でドミナント化を進め、3ヶ所ある物流拠点から片道2時間以内配送が可能な地域でのドミナント化することにあります。

今後は市場規模の大きい大阪府をはじめ、三重県、奈良県も強化すべく、年間2ヶタの積極的な出店を続けていきます。また、シェア率の高い和歌山県では店舗展開の質的向上を図り、より強固なドミナント構築に努めます。

感動を与える経営 ③ 《ローコストオペレーション》

地域密着型「食品スーパー」にとって大切な「良品質・低価格」な商品提供。それを継続的に実施する為に不可欠なのが、ローコストオペレーションです。

当社は、さらなるIT技術を活用したオペレーションシステム導入により、ローコストオペレーションを目指しております。既にITネットワークのインフラ整備は完了し、現在は、円滑なMDサイクルを行う「トータルマネジメントシステム」構築に着手しております。

感動を与える経営 ② 《経営体質の強化》

競争が激化する流通業界にあって、経営体質の強化は重要性を増しています。当社の基本的な考え方は、グループ企業も含め各社が専門とする事業を定め、そこでの収益確保に向け経営資源を集中させることです。

当社では「食品スーパー」事業に特化し経営資源を集中させることで、商品開発・改廃のスピードアップ・売場の活性化などを実現し、財務面においても積極的な出店を行いながらスリム化を図るなど、経営体質の強化を行っております。

感動を与える経営 ④ 《さらなる飛躍へ向けて》

当社『中期経営計画』では、2008年2月期時点で営業収益3,000億円を目指しており、それに対応したインフラ投資は既に完了させております。

今後も競争力を高めるべく、「食品スーパー」へとさらに特化していき、積極的な出店や、商品開発・売り場展開におけるチャレンジ、そしてITを活用したローコストオペレーションシステムの構築などに努め、淘汰の時代を迎えた流通業界の勝ち組企業として、さらなる飛躍を目指してまいります。

社会貢献と環境保全活動

詳しくは <http://www.okuwa.net/> をご覧ください

当社は地域に密着し、地域の皆さま方と一緒に行動する企業として、社会への貢献、環境への配慮に対し積極的な活動を行っております。特に事業運営上における資源の有効活用、省資源化につきましては、様々な分野で取り組んでいます。その一環として、今年1月には配送車にCNG(圧縮天然ガス)冷蔵冷凍トラックを導入しました。



資源有効活用

牛乳パック・食品トレイ・ペットボトルなどの店頭回収及び店舗の廃棄物の再資源化を図っています。中でも、牛乳パックの回収リサイクル収益金は、出店エリアの各府県の環境保全基金に寄付し、地域社会の環境活動に貢献しています。



大桑教育文化振興財団

当社の創業者である故 大桑勇氏が、地域社会の発展に寄与することを目的に、私財を投じて平成5年9月に設立いたしました。現在は、教育文化の振興に対して、奨学金・援助金などの活動を行っております。



省資源活動

包材等の削減に努めると同時に、回収したトレイを原料とした再生トレイなどを積極的に活用しています。また、レジ袋ご辞退のお客様にポイント制度を設けるなど、環境保護への啓発活動も行っています。

お客様の笑顔にお応えします

24時間営業

お客様のライフスタイルの変化に合わせて、当社は24時間営業にも取り組んでおります。既に本社中島店を始めとする当社の主力業態SSM(スーパー・スーパーマーケット)でも実施し、他のスーパー、コンビニと差別化された品揃えで、大きな成果を上げております。今後もお客様のご要望の多い地域で重点的に拡大し、今期末には当社店舗の2割強を24時間営業化致します。



売場提案

お客様の楽しい買い物をサポートする為に、新たな売場提案も行ってあります。「デバ地下売場の惣菜コーナー」をコンセプトにした「惣菜バイキング・オグルメ」を始めとして、「鮪師(しびし)のまぐろ」、「バナナ王国」など、オークワだけの品揃えで、催事性のあるコーナーを展開。売場を活性化させる独自の取り組みで、お客様のニーズにお応えしていきます。



オリジナル商品開発

お客様に「低価格・良品質」な商品をご提供する為に、自社ブランド商品の開発にも取り組んでおります。当社食品工場で徹底した品質・鮮度管理の下に「安心・安全」な商品を製造しております。また製造から物流までをシステム化することで無駄な経費を削減し、「低価格・良品質」な商品提供を実現しました。そのアイテム数は約300に達し、弁当や惣菜を中心に数々のヒット商品を生み出しています。



オーカードプラス

約157万人ものお客様にご利用頂いているオーカード(2003年2月20日現在)が、さらに便利になりました。従来のポイントカード機能にクレジット機能・キャッシング機能が加わった「オーカードプラス」は、食品レジでのサインなしのお買い物からキャッシングのご利用までを可能にしています。今後もさらなる利便性のご提供で、顧客満足の上を目指して参ります。



「株主優待制度を創設」

この度、株式会社オークワでは、平成15年2月20日末決算の株主名簿に記載のある1,000株以上の株式を所有されている株主様を対象に株主優待制度を創設いたしました。

権利確定日・・・平成15年2月20日
発送予定日・・・5月～6月

ご所有株式数 1,000株 以上で



3,000円相当の紀州特産品贈呈します。

参考例：紀州梅干し田舎漬け 600g

ご所有株式数 5,000株 以上で



5,000円相当の紀州特産品贈呈します。

参考例：紀州梅干し田舎漬け 1kg

当期のわが国経済は、完全失業率が5%を超える厳しい雇用環境が続いており、所得の減少傾向や社会保障制度に対する将来への不安等から、個人消費の回復への道のりは依然として厳しい状況のまま推移いたしました。

流通業界におきましては、デフレによる客単価下落に歯止めがかからず売上高減少を招き、店舗間競争の激化とあわせて厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中で、スーパーマーケット事業を展開する株式会社オークワは「お客様の視点で、商品力・販売力の再構築とスピーディーなローコストオペレーション改革により、経営効率を一気に改善しよう。」をスローガンに掲げ、商品開発・改廃のスピードアップ、店舗・売場活性化推進による販売力の強化、販売費及び一般管理費削減等の収益向上施策の実施、不振部門・事業部の抜本的改善、FSP(フリークエント・ショッパーズ・プログラム)の本格的深耕、ローコストオペレーションのための情報電子化システム推進、人事教育の抜本的改革、積極的出店によるドミナントエリア構築などに努めてまいりました。

また、当期中には和歌山県下にスーパーマーケット(SSM)の高野口店、大浦街道店、箕島店、大阪府下にSSMの貝塚店、泉大津店、スーパーマーケット(SM)の高石羽衣店、奈良県

下にSMの奈良古市店の7店を新設いたしました。

また、既存店については、松阪サンタン店は閉鎖し松阪長月店として改築、経営の効率化を図るため、楠見店、桜井西店、加太店の3店を閉鎖したほか、旧高野口店は新設店と至近距離になるため閉鎖いたしました。

さらに、日置店を改築増床したほか、神前店を増床、ヘアシティ新宮店、スカイシティ泉南店ほか6店の改装を実施いたしました。

この結果、当社単体の営業収益(売上高及び営業収入)は2,161億3,400万円(前期比1.3%増)、経常利益は60億2,100万円(前期比17.4%増)、当期純利益は28億8,800万円(前期比8.8倍)となりました。

一方、連結子会社では、グループの効率的な事業再編の一環として、ホームセンターを展開してきた株式会社オーマートが、平成14年8月21日をもって、株式会社ジョイフル朝日と合併いたしました。これにより同社は下期より連結対象から外れ、減収要因となりました。なお、合併と同時に商号を株式会社オージョイフルとし、持分法適用関連会社となっております。

これらの結果、当期連結ベースの営業収益は2,314億2,400万円(前期比1.0%減)、経常利益は61億7,000万円(前期比16.2%増)、当期純利益は30億4,700万円(前期比19.2倍)となりました。

新規出店および移転増床改築店



高野口店



貝塚店



高石羽衣店



奈良古市店



大浦街道店



泉大津店



箕島店



松坂長月店(改築)

連結財務諸表

連結貸借対照表

	第34期 平成15年2月20日現在	第33期 平成14年2月20日現在	第32期 平成13年2月20日現在
(単位：百万円)			
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	7,691	8,633	9,180
受取手形及び売掛金	340	334	727
有価証券	149	302	150
たな卸資産	9,249	10,511	11,031
繰延税金資産	726	848	575
その他	1,288	1,224	1,349
貸倒引当金	2	1	4
流動資産合計	19,443	21,853	23,011
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物	43,381	46,452	48,799
機械装置及び運搬具	595	691	564
器具及び備品	1,635	1,729	1,971
土地	25,546	24,837	24,770
建設仮勘定	1,427	1,499	1,018
有形固定資産合計	72,585	75,210	77,124
無形固定資産			
無形固定資産	4,013	4,295	4,315
無形固定資産合計	4,013	4,295	4,315
投資その他の資産			
投資有価証券	3,920	1,754	2,894
長期貸付金	6	-	-
差入保証金	19,900	16,744	17,181
繰延税金資産	791	627	8
その他	2,362	2,767	2,853
貸倒引当金	134	6	39
投資その他の資産合計	26,846	21,887	22,898
固定資産合計	103,445	101,393	104,337
資産合計	122,889	123,247	127,348

	第34期 平成15年2月20日現在	第33期 平成14年2月20日現在	第32期 平成13年2月20日現在
(単位：百万円)			
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	9,896	10,229	10,169
短期借入金	17,170	20,210	21,470
一年以内返済予定長期借入金	4,264	4,897	4,779
未払法人税等	1,535	1,386	940
未払消費税等	464	784	496
その他	9,780	9,682	10,436
流動負債合計	43,111	47,189	48,292
固定負債			
長期借入金	9,993	8,690	11,976
繰延税金負債	0	1	701
退職給与引当金	-	-	236
退職給付引当金	3,645	3,383	-
役員退職慰労引当金	270	283	271
預り保証金	7,222	6,787	7,022
固定負債合計	21,132	19,146	20,208
負債合計	64,244	66,336	68,501
少数株主持分			
少数株主持分	-	-	1
資本の部			
資本金	14,117	14,117	14,117
資本剰余金	14,027	14,027	14,027
利益剰余金	32,026	29,958	30,702
その他有価証券評価差額金	4	10	-
自己株式	1,530	1,181	1
資本合計	58,644	56,911	58,845
負債、少数株主持分及び資本合計	122,889	123,247	127,348

連結損益計算書

(単位：百万円)	第34期	第33期	第32期
	自平成14年2月21日 至平成15年2月20日	自平成13年2月21日 至平成14年2月20日	自平成12年2月21日 至平成13年2月20日
経常損益の部			
営業収益	231,424	233,723	225,500
売上高	223,135	225,636	218,918
売上原価	162,324	164,593	160,470
売上総利益	60,810	61,043	58,448
営業収入	8,288	8,087	6,581
不動産賃貸収入	1,910	1,684	1,858
その他の営業収入	6,377	6,402	4,723
営業総利益	69,099	69,130	65,029
販売費及び一般管理費	62,817	63,455	61,681
営業利益	6,281	5,674	3,348
営業外収益	528	832	735
受取利息	23	20	23
持分法による投資利益	22	-	-
その他	482	812	712
営業外費用	702	1,251	1,153
支払利息	500	599	647
持分法による投資損失	-	256	212
その他	201	395	293
経常利益	6,107	5,256	2,930
特別損益の部			
特別利益	224	79	169
貸倒引当金戻入額	-	2	0
固定資産売却益	151	42	16
賃貸契約解約金	43	34	152
規定変更に伴う役員退職慰労引当金取崩額	30	-	-
特別損失	787	4,502	734
厚生年金基金過去勤務費用掛金	-	-	179
固定資産売却損	33	8	39
固定資産除却損	525	478	294
投資有価証券評価損	18	597	221
退職給付会計基準変更時差異	-	2,878	-
賞与支給対象期間の変更に伴う過年度負担額	-	385	-
その他	210	153	-
税金等調整前当期純利益	5,544	833	2,366
法人税、住民税及び事業税	2,568	2,216	1,405
法人税等調整額	71	1,542	140
少数株主利益	-	-	0
少数株主損失	-	0	-
当期純利益	3,047	158	1,101

要約連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位：百万円)
	15年2月期 連結会計年度
税金等調整前当期純利益	5,544
減価償却費	5,507
その他	1,320
小計	12,371
法人税等の支払額	2,415
その他	445
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,511
固定資産の取得・売却による増減	4,499
その他	3,741
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,240
借入金の借入れ・返済による増減	489
その他	1,234
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	-
現金及び現金同等物の減少額	452
現金及び現金同等物の期首残高	7,864
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	489
現金及び現金同等物の期末残高	6,922

連結剰余金計算書

科 目	(単位：百万円)
	15年2月期 連結会計年度
資本剰余金の部	
資本剰余金期首残高	14,027
資本剰余金期末残高	14,027
利益剰余金の部	
利益剰余金期首残高	29,958
利益剰余金増加高	3,671
当期純利益	3,047
持分法適用会社の増加に伴う増加	624
利益剰余金減少高	1,604
配当金	884
取締役賞与金	1
連結子会社の減少に伴う減少高	718
利益剰余金期末残高	32,026

単体財務諸表

単体貸借対照表

	第34期 平成15年2月20日現在	第33期 平成14年2月20日現在	第32期 平成13年2月20日現在
(単位：百万円)			
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	6,812	6,921	8,101
売掛金	314	282	684
有価証券	149	302	150
商品	7,439	7,326	7,990
前渡金	84	50	58
前払費用	28	42	58
繰延税金資産	710	782	542
関係会社短期貸付金	738	700	700
未収入金	1,086	1,048	1,051
立替金	16	22	33
自己株式	-	-	1
その他	92	71	82
貸倒引当金	3	3	5
流動資産合計	17,470	17,548	19,448
固定資産			
有形固定資産			
建物	39,070	40,725	42,509
構築物	3,200	3,583	4,008
機械及び装置	417	465	526
車両及び運搬具	34	34	28
器具及び備品	1,422	1,338	1,593
土地	25,546	24,751	24,684
建設仮勘定	1,427	1,499	1,018
有形固定資産合計	71,119	72,397	74,370
無形固定資産			
営業権	2	5	8
借地権	3,084	3,100	3,135
ソフトウェア	374	328	283
その他	444	471	495
無形固定資産合計	3,905	3,906	3,923
投資等			
投資有価証券	1,625	1,385	2,136
関係会社株式	2,120	2,397	2,431
出資金	1	1	1
関係会社出資金	7	7	7
長期貸付金	6	-	-
関係会社長期貸付金	-	500	500
長期前払費用	863	1,187	1,390
繰延税金資産	859	638	-
投資不動産	973	973	970
差入保証金	19,369	15,782	16,303
店舗賃借仮勘定	263	89	35
その他	128	239	-
貸倒引当金	134	6	39
投資等合計	26,085	23,197	23,737
固定資産合計	101,110	99,501	102,030
資産合計	118,581	117,049	121,479

	第34期 平成15年2月20日現在	第33期 平成14年2月20日現在	第32期 平成13年2月20日現在
(単位：百万円)			
負債の部			
流動負債			
買掛金	9,247	9,127	9,218
短期借入金	15,420	17,160	18,120
一年以内返済予定長期借入金	4,197	4,583	4,604
未払金	3,692	3,815	3,663
未払費用	2,514	2,644	2,401
未払法人税等	1,500	1,324	931
未払消費税等	420	737	464
預り金	445	471	495
設備関係支払手形	1,075	572	1,947
その他	1,669	1,684	1,495
流動負債合計	40,184	42,122	43,342
固定負債			
長期借入金	9,915	8,105	11,439
関係会社長期借入金	11	16	41
繰延税金負債	-	-	701
退職給与引当金	-	-	182
退職給付引当金	3,473	3,203	-
役員退職慰労引当金	270	283	271
預り保証金	7,383	7,685	8,089
固定負債合計	21,095	19,293	20,727
負債合計	61,279	61,415	64,069
資本の部			
資本金	14,117	14,117	14,117
資本剰余金			
資本準備金	14,027	14,027	14,027
資本剰余金合計	14,027	14,027	14,027
利益剰余金			
利益準備金	1,314	1,314	1,268
任意積立金	22,987	22,991	22,949
当期末処分利益	6,392	4,384	5,045
(うち当期純利益)	(2,888)	(329)	(1,298)
利益剰余金合計	30,695	28,690	29,264
その他有価証券評価差額金	7	20	-
自己株式	1,530	1,181	-
資本合計	57,301	55,634	57,409
負債及び資本合計	118,581	117,049	121,479

単体損益計算書

	第34期 自平成14年2月21日 至平成15年2月20日	第33期 自平成13年2月21日 至平成14年2月20日	第32期 自平成12年2月21日 至平成13年2月20日
(単位：百万円)			
経常損益の部			
営業収益	216,134	213,338	207,101
売上高	210,240	207,640	201,718
売上原価	154,673	153,414	150,046
売上総利益	55,566	54,226	51,671
営業収入	5,893	5,698	5,383
不動産賃貸収入	2,980	2,879	2,696
その他の営業収入	2,913	2,819	2,686
営業総利益	61,460	59,924	57,055
販売費及び一般管理費	55,285	54,727	53,877
営業利益	6,175	5,196	3,177
営業外収益	488	850	737
受取利息	36	38	33
その他	452	811	704
営業外費用	642	916	845
支払利息	462	544	595
その他	179	372	250
経常利益	6,021	5,130	3,069
特別損益の部			
特別利益	224	79	170
貸倒引当金戻入額	-	1	0
固定資産売却益	150	42	16
賃貸契約解約金	43	34	152
規定変更に伴う役員退職慰労引当金取崩額	30	-	-
特別損失	1,008	4,393	700
厚生年金基金過去勤務費用掛金	-	-	179
固定資産売却損及び除却損	538	445	304
投資有価証券評価損	18	641	217
関係会社株式評価損	276	-	-
退職給付会計基準変更時差異	-	2,766	-
賞与支給対象期間の変更に伴う過年度負担額	-	385	-
その他	174	153	-
税引前当期純利益	5,238	815	2,538
法人税、住民税及び事業税	2,507	2,051	1,362
法人税等調整額	158	1,565	121
当期純利益	2,888	329	1,298
前期繰越利益	3,946	4,499	3,850
過年度税効果調整額	-	-	280
税効果会計適用に伴う圧縮記帳積立金取崩額	-	-	819
税効果会計適用に伴う特別償却準備金取崩額	-	-	75
利益による自己株式消却額	-	-	218
中間配当額	442	444	453
中間配当に伴う利益準備金積立額	-	-	45
当期末処分利益	6,392	4,384	5,045

配当政策

当社の利益配分につきましては収益力の向上に努め、その成果及び今後の経営環境や業績動向等を総合的に勘案して、安定した配当を継続することを基本方針としております。

当期末の利益配当金につきましては、当社の業績に対する株主各位の日頃のご支援にお報いするべく、1株につき10円(年間20円)の配当を実施致します。

また、内部留保金につきましては、長期的な観点に立った店舗展開、消費者ニーズに合った商品提供のための設備投資、及び合理化のためのIT投資等に有効に活用してまいります。

利益処分

科目	(単位：百万円)
当期末処分利益	6,392
特別償却準備金取崩額	7
合計	6,400
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金 (1株につき 10円)	439
取締役賞与金	7
圧縮記帳積立金	10
次期繰越利益	5,941

(注)1. 特別償却準備金の取崩しおよび圧縮記帳積立金の積立は、租税特別措置法の規定に基づくものであります。

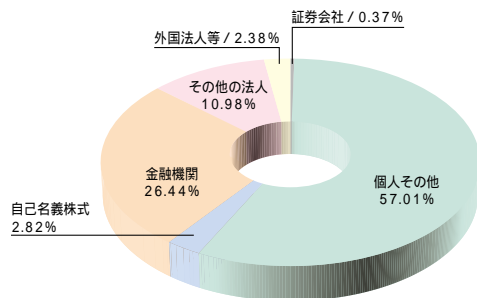
2. 平成14年11月11日に442百万円(1株につき10円)の中間配当を実施いたしました。

企業データ

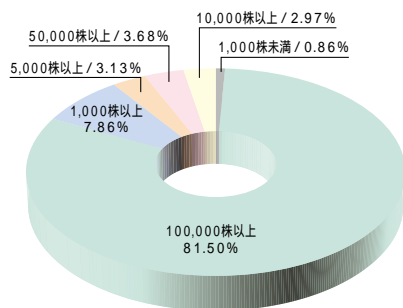
株式の状況(平成15年2月20日現在)

会社が発行する株式の総数159,605,000株
 発行済株式の総数45,237,297株
 株主数3,743名

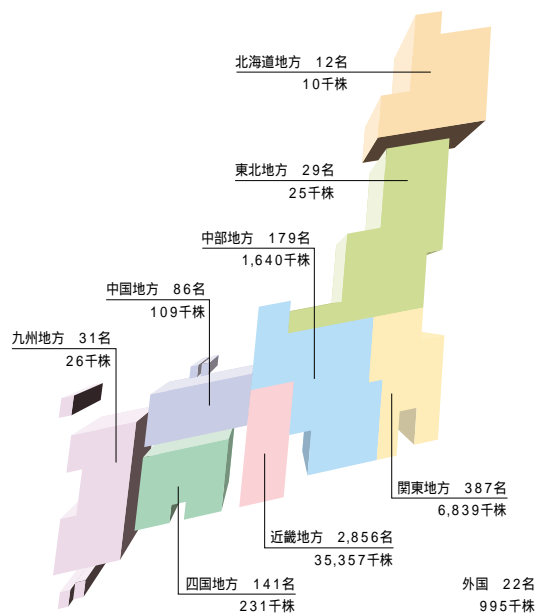
所有者別分布状況



所有株数別分布状況



株式の地域別分布状況



大株主

株主名	持株数	議決権比率
大桑 啓嗣	4,525千株	10.58%
大桑 啓嗣	3,593千株	8.40%
大桑 俊男	3,566千株	8.34%
大桑 祥嗣	3,537千株	8.27%
住友信託銀行株式会社	2,096千株	4.90%
財団法人 大桑教育文化振興財団	1,520千株	3.55%
オークワ共栄会	1,425千株	3.33%
株式会社UFJ銀行	1,145千株	2.68%
浜田さだ彥	983千株	2.30%
株式会社紀陽銀行	891千株	2.08%

株主メモ

決算期	2月20日
基準日	2月20日(その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。)
利益配当金受領株主確定日	2月20日
中間配当金受領株主確定日	8月20日
定時株主総会	5月
公告の方法	日本経済新聞に掲載いたします。 ただし商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書にかかる情報は、 http://www.okuwa.net/fir/index.html において提供いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 大阪証券取引所 市場第一部
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店

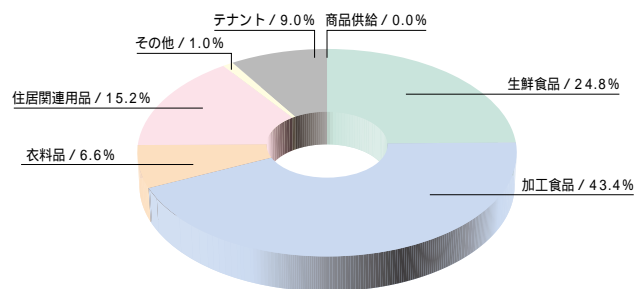
役員(平成15年5月15日現在)

代表取締役会長	大桑 靖嗣
代表取締役社長	大桑 啓嗣
専務取締役	宇治 健一
専務取締役	永栄 靖生
常務取締役	横山 勝彦
常務取締役	坪田 健治
取締役	山内 雅之
取締役	武内 貞夫
取締役	福西 拓也
取締役	塩谷 俊夫
取締役	大桑 祥嗣
取締役	大桑 俊男
取締役	大桑 塚和彦
監査役	橋本 清
監査役	勝田 仁
監査役	津田 康幸

会社概要(平成15年2月20日現在)

社名	株式会社 オークワ
創業	昭和13年5月
会社創立	昭和34年2月27日
会社設立	昭和44年2月21日
資本金	141億1,749万円
本社所在地	和歌山市中島185番地の3 TEL.(073)425-2481(代)
従業員数	1,786名(社員) 4,249名(パートタイマー)8時間換算
事業内容	チェーンストア経営 食料品、酒類、米類の販売、家庭用品、住居用品、 室内装飾品、DIY、レジャー用品、スポーツ用品、 家具、家庭電化製品、貴金属、化粧品、医薬品、 カメラ、DPE、衣料品、旅行業務
店舗数	和歌山、大阪、奈良、三重に120店舗

商品別売上高構成比



連結子会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	議決権比率 (%)	主要な事業内容
(株)オー・エンター テイメント	325	100.0	書籍等の販売、ビデオ・CD・DVDレンタル業、 映画興行、スポーツクラブ等の経営
(株)オークフーズ	296	100.0	ファミリーレストラン等の飲食業

<http://www.okuwa.net/>



本	社	和歌山市中島185番地の3
和歌山物流センター		和歌山市大垣内字沢633番地
関流通センター		三重県鈴鹿郡関町転石1番地の1
みはま食品工場・流通センター		三重県南牟婁郡御浜町阿田和宇賀松3514
和歌山食品工場		和歌山市吐前字圪り1043番地
奈良食品工場		奈良県大和郡山市池沢町224番地
和歌山食品センター		和歌山市大垣内621番地の1
南紀水産加工センター		三重県南牟婁郡紀宝町成川345番地の8
店	舗	店舗数 120店(平成15年2月20日現在)



OKUWA

本社 / 〒641-8501 和歌山市中島185番地の3 TEL(073)425-2481(代)



この事業報告書は100%古紙再生紙と植物性大豆インキを使用しています。

上記店舗以外に
本社・食品工場・食品センター・物流センター